

令和5年度 新潟大学 経済科学部

総 合 型 選 抜

試 験 問 題

【科 目】 小論文

【時 間】 90分

- 【注 意】
- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 問題用紙は1ページあります。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は、監督者に申し出てく
ださい。
 - 3 解答用紙は1枚あります。
解答用紙の指定箇所に、受験番号を記入してください。
 - 4 問題の解答は、解答用紙に記入してください。
解答欄は、裏面にもあります。
 - 5 下書き用紙は2枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 6 試験終了後、この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

白 紙

令和5年度 新潟大学 経済科学部

総 合 型 選 抜
試 験 問 題

小論文

1976年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカ人経済学者ミルトン・フリードマン(1912-2006)は、世界に影響を与えた数多くの政策提言において、政府の役割に一定の制限を課すことの重要性を説いたことで知られる。

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

(ミルトン・フリードマン (村井章子訳) 『資本主義と自由』

p.25)

またフリードマンによる次の主張は、新型コロナウイルス感染爆発と対峙する今日の政府の活動を評価する際の手がかりとなる。

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

(ミルトン・フリードマン (村井章子訳)

『資本主義と自由』 p.16)

フリードマンの主張に従うなら、新型コロナウイルスをめぐる「危機」において、「政府」はどのように対応すべきだろうか。そして「危機」の終息後を見据え、「政府」は「政府の役割」をどのように「変革」すべきだろうか。これまでの日本政府による具体的な政策・措置があなた自身の日常に及ぼした影響にも触れながら、フリードマンによる上の論説を踏まえ、800字以内で論じなさい。